

県立船橋高等学校

目 標

- ・ 生徒のオーストラリア短期留学への興味関心を深める。
- ・ 交流校との連携による国際交流の推進。
- ・ 国際理解教育を推進するための体制の構築。

留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：平成30年11月16日（金）15時40分から17時20分
- (2) 会 場：本校第1会議室
- (3) 留学生等：千葉大学の留学生2名
- (4) 参加者：第2学年生徒29名、教員2名、 計 31名
- (5) 内 容：
 - ・ 全体会（日本文化プレゼンテーション披露）
会場にて本校生徒たちがオーストラリアで実施した日本文化のプレゼンテーションを2つ体験してもらい、感想をうかがった。
 - ・ 班別交流会
2つのグループに分かれ、それぞれのグループに1人留学生に入ってもらい、留学生を交えて、お互い自由に話をした。
- (6) 事前学習：
短期留学中にオーストラリアで実施したプレゼンテーションの内容で、現地で好評だったものを、多少手直しして発表に臨んだ。また、今回来校する2人の国についても、事前に確認を行った。
- (7) 事後指導：
欧米以外の国々の話が新鮮だったようで、自分たちでもそれぞれの国のことをさらに調べるなどして理解を深めた。
- (8) 参加者の感想等：
 - ・ 今回の交流会で、自分たちが行ったオーストラリアだけでなく、マレーシア・中国の実情や人々の暮らしなども知ることができて、身近に感じられた。
 - ・ 初めて外国の人の話がじっくり聞けてよかったし、楽しかった。
 - ・ 外国というどうしても欧米に目を向けがちだが、アジアの人たちとの結びつきももっと大切だと感じた。

海外理解促進のための講演会

- (1) 日 時：平成30年7月7日（土） 10時から11時
- (2) 会 場：本校第1会議室
- (3) 講 師：氏名 深澤 良彰 氏
所属 早稲田大学理工学術院教授 オープンソースソフトウェア研究所所長

経歴 早稲田大学理工学部助手、相模工業大学（現・湘南工科大学）講師、早稲田大学理工学部助教授を経て、1992年より教授。専門はソフトウェア工学、コンピュータ・プログラミング。主要な研究テーマは、ソフトウェア開発支援、並列コンピュータ用コンパイラ、コンピュータ援用設計（CAD）など。また、2004年4月に設置された、オープンソースソフトウェア研究所所長を兼務。主な著書に『プログラミング：考え方と言語』『ツールとしての Unix』『オブジェクト指向プログラミング入門：CからC++へ』

(4) 参加者：第2学年オーストラリア短期留学参加生徒30名、教員6名、保護者30名、
計 66名

(5) 内容：

「グローバル社会で活躍するための準備（高校生の海外体験・異文化交流の意義）」という演題で、グローバルな人になるためにどのようなものが求められているのか、必要とされているのか等、深澤先生ご自身の海外体験談や資料をもとに興味深く話していただいた。

(6) 事前学習：オーストラリア短期留学に向けて、オーストラリアのことについてテーマを決めて、班ごとに発表した。

(7) 事後指導：質疑応答の中で、「オーストラリアのことだけでなく、日本のことについてもっと知っておくべきだと思った」と感想を述べた生徒がおり、現地でオーストラリアの方たちに日本文化を紹介するプレゼンテーションを行うが、その内容を見直した。

(8) 参加者の感想等：

直前に迫ったオーストラリア短期留学で、深澤先生から生徒たちへ日本と違う世界をぜひ体験してきてほしいとのエールを送っていただき、彼らも期待に胸を膨らませたようだった。

事業の成果

- ・ 7月の講演により、いかに自分たちが日本を知らないのかを実感したようで、日本のことについて知っておくべきことを考える良いきっかけになった。また、漠然と耳にしていたグローバル（社会）という言葉について、徐々にではあるが、理解するきっかけとなったようである。それと同時に海外に対する興味・関心もより高まった。
- ・ 本事業の実施が、生徒たちにとって、国際交流とは何かを考えるきっかけとなった。

今後考えられる新たな取組

- ・ このプロジェクトをきっかけに世界へと生徒の目を向けさせる更なる取組
- ・ 校内における国際理解教育を構築するための更なる推進